

田村地方在宅医療・介護連携支援センター協力機関 田村地方の包括支援センターからのお知らせ

社会福祉法人 田村市社会福祉協議会 田村市地域包括支援センター

田村市大越町上大越字古川97

令和4年4月
寄せられたご相談件数 **27**件(医療・介護関連)
ご相談別割合(性別:男性12件 女性15件)

| | | | | | | | |
|-----|----|-----|-----|----------|-----|------|----|
| 40代 | 1件 | 70代 | 6件 | ご本人からの相談 | 4件 | 行政 | 1件 |
| 50代 | 0件 | 80代 | 13件 | ご家族からの相談 | 21件 | 民生委員 | 1件 |
| 60代 | 5件 | 90代 | 2件 | 病院 | 3件 | | |

高齢者様の困りごとについて、全般的に対応しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

受付時間
◎月～金 8:30～17:30 ◎土 8:30～12:30(祝日は除く)
電話 0247-68-3737 FAX 0247-68-3939



社会福祉法人 三春町社会福祉協議会 三春町地域包括支援センター

田村郡三春町字南町1 三春町福祉会館1階

三春町地域包括支援センターは、令和4年4月より、新たに7名体制で稼働しております。(うち1名は育児休暇中)

高齢者様の困りごとについて、全般的に対応いたします。その他、「介護にならないように予防したい」という方の相談も受け付けております。短期集中予防サービス(運動機能向上や口腔ケア改善プログラムを週1回、約3か月の短期間で行う)などのご紹介もしております。お気軽にお問い合わせください。

受付時間
●月～金 8:30～17:15 (祝日除く)
電話 0247-62-8586 FAX 0247-62-8640



社会福祉法人 小野町社会福祉協議会 小野町地域包括支援センター

田村郡小野町大字小野新町字品ノ木111

令和4年4月
寄せられたご相談件数 **70**件(医療・介護・その他生活全般)
ご相談別割合(性別:男性28件 女性42件)

| | | | | | | | |
|-----|-----|----------|-----|----------|-----|--------------|----|
| 60代 | 6件 | ご本人からの相談 | 10件 | 病院 | 5件 | 警察署 | 1件 |
| 70代 | 8件 | ご家族からの相談 | 21件 | 行政 | 15件 | サービス事業者 | 2件 |
| 80代 | 43件 | 親戚からの相談 | 2件 | 民生委員 | 4件 | 他自治体包括支援センター | 1件 |
| 90代 | 13件 | 知人からの相談 | 3件 | ケアマネージャー | 6件 | | |

高齢者様の困りごとについて、全般的に対応しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

受付時間
●月～金 8:30～17:15(祝日除く)
電話 0247-72-2128 FAX 0247-61-6102



No.03
第3号
TAKE FREE

田村地方在宅医療・介護連携支援センター ゼロからだより

1 NEWS

コロナと闘う在宅医療・介護の現場に
田村地方の三自治体の首長様からメッセージが寄せられました



田村市長
白石高司 田村市長



三春町長
坂本浩之 三春町長



小野町長
村上昭正 小野町長

田村市長からのメッセージ

田村地方在宅医療・介護連携支援センターをはじめ、会員及び関係者の皆さまには、日頃より保健、医療、福祉行政をはじめ、市政全般にわたり、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

市の高齢化率は、令和4年4月1日現在で36%を超えており、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、医療と介護の連携はますます必要不可欠なものとなっております。このような状況の中、地域の高齢者への医療と介護を包括的に提供するための架け橋となる田村地方在宅医療・介護連携支援センターの役割は極めて大きいものとなっております。

介護が必要になっても自宅で生活したい、人生の最期を自宅で迎えたいと希望する高齢者の増加や看取り対応が重要視される中、2019年7月に田村地方在宅医療・介護連携支援センターが開設されました。開設後は、相談窓口の運営や各種研修会の開催、地域への情報発信など活動を広げてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症が発生し、センター会員の皆さまには、新しい感染症対応への不安、恐怖、情報の錯綜など計り知れない心労があったこととお察し申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が発生してから2年が過ぎましたが、未だ収束の兆しが見えないまま月日が過ぎようとしています。このような状況下で、医療機関、薬局など医療従事者の皆さまには、自医院などでの感染防止対策の徹底など大変なご苦労をおかけしていることと思います。ガウンをまとい、フェイスシールドをして、マスク、グローブを着用し、患者に対応されているお姿を拝見し、頭が下がる思いです。

また、ご自身も感染するのではないかと不安や感染源となるのではないかと心配など、様々な思いを抱えながらの状況にもかかわらず、コロナ禍以前の対応と変わらぬ患者へのお気遣い、言葉かけをしていただいております。

同様に、介護施設、介護サービス事業所等の職員の皆さまにおかれましても、施設内のクラスター発生防止や入所者の家族の面会制限など気苦労は計り知れないものと思います。それでもなお、コロナ禍以前と変わらぬ対応をいただいております。

また、医療従事者、介護施設、介護サービス事業所等の職員の皆さまも、ご本人が職場で感染するのではないかと、そこから、家族も感染してしまうのではないかと不安とともに、この仕事を誰かがやらなければならないという葛藤など複雑な気持ちで見守っていらしたのではないかと思います。こうした状況の中、皆さまのご尽力の下に、市民の命、健康が守られておりますことに加えて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、新型コロナワクチン接種や発熱外来の対応などにもご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

当市の新型コロナワクチン接種率は、令和4年5月6日現在、2回目接種率が約92.8%、3回目接種率が76.2%となり、ワクチン接種も進んでまいりました。引き続き、ワクチン接種を円滑に進めるとともに基本的な感染防止対策の徹底の周知など感染防止対策に取り組んでまいりますので、医療従事者、介護施設、介護サービス事業所等の皆さまも、大変な日々が続くと存じますが、共に、コロナ禍以前の生活が再び訪れるよう歩んでいただければ幸甚に存じます。

団塊の世代が75歳を迎える2025年が間もなく到来しますが、市では、センター会員の皆さまと共に、「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制づくりを進めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、田村地方在宅医療・介護連携支援センターの益々のご発展と、会員の皆さまをはじめ、ご家族のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。

事務局からのお知らせ ご多忙の中、メッセージをお寄せくださいました首長の皆様に深く御礼申し上げます。

三春町長からのメッセージ

田村地方管内の医療機関・介護事業所の皆様におかれましては、日頃より、町政全般にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新年度も始まり、自治体や事業所も新体制としてスタートし、早くも1か月が経ちました。新しい生活や環境の中で、疲れも見え始める頃かと思いますが、新型コロナウイルスとの闘いの第一歩は、自分自身の健康管理ではないかと思えます。医療介護関係者の皆様ご自身の健康をまず第一にご祈念いたします。

現在、新型コロナウイルス感染症については、ウイルスの変異株が新たに置き換わる等、いまだに収束が見通せない状況となっています。最前線で診療に携わっておられる医療関係者の皆様や、感染防止対策に日々細心の注意を払いつつ、制約を強いられた環境下でケアをされている福祉関係職員の方々のご苦労に対し、敬意と感謝を申し上げます。

さて、三春町の新型コロナウイルスのワクチン接種事業は、田村医師会、田村薬剤師会ほか関係各位のご協力のもと順調に進めて参りました。町では新型コロナワクチン接種プロジェクトチームを立ち上げ、役場全庁体制で職員一丸となって対応にあたりました。集団接種事業においては、町内医療機関の医師・看護師の方をはじめ、調剤薬局薬剤師、介護事業所の看護師、訪問看護ステーション看護師、在宅看護師など多くの医療職の方々のご協力をいただき、大きな混乱もなく遂行することができました。また、個別接種におきましても、日常の診療に加えてのワクチン接種にもご理解とご協力をいただき、町民の方々が身近なところで安心して接種を受けることができたものと感じております。これも一重に地域の医療・福祉関係者の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

しかしながら、依然として、新型コロナウイルス感染症の陽性者数は高止まりで推移しており、予断を許さない状況が続いております。今年1月からは、

未就学児や小中学校の児童生徒の感染者が急増し、学校や保育児童施設でのクラスターの発生があるなど、高齢者を抱えるご家族や介護関係施設にとっても緊張の毎日が長く続いております。

そうした中、感染が疑われる方の検査体制の確保や、重症化が懸念される高齢者の方等の入院医療の確保は、各自治体においても大きな課題であり、田村地域の多くの医療機関や調剤薬局における検査体制が確保され、町立三春病院のコロナ病床確保などは、町としても町民にとりましても大きな安心となっています。

一方、コロナ禍において私たちの毎日の暮らしは一変してしまいました。先ごろ町民の方から「最近子供たちが挨拶なして素通りしていく」という話を伺いました。ここ二年間、地域のお祭りや交流イベントなどが中止となり、自然と世代を超えた交流の機会となっていた行事が行われないことで、「地域のおじちゃん」が「知らないおじちゃん」になってしまったといえます。職場の職員間の交流や家族親族間の交流など、人として豊かに暮らすための様々なコミュニケーションの機会も失われたように感じます。

新型コロナウイルスとの闘いは、まだ終わりが見えない状況ではありますが、これからの取組みは、失われた交流やつながりを取り戻していくことが重要であると考えます。地域の中で、人が人となつたり、不安を相談し、安心して生活していけるために、住民同士が世代を超えて支え合える仕組みづくりを、行政としてもしっかりと取り組んで参ります。さらには、支え手となる医療・介護・福祉の関係者の皆様とも、これまで以上に連携を深めて取り組んでいくことが望まれていると思えます。今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小野町長からのメッセージ

日頃より、田村地方在宅医療・介護連携支援センターの運営にご尽力いただいている医療機関及び介護事業所の皆さまには、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、様々なご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

今年に入り、全国でオミクロン株の流行による「第6波」が到来し、これまでにない速さで感染症が急拡大しました。町におきましても、過去最多の29日連続で新規感染者が確認され、特に、家庭内感染のケースが多くを占めたことから、幅広い年代の感染者が確認されました。

感染拡大が続く中、今年1月より、新型コロナウイルスワクチン3回目接種を開始し、4月より、5から11歳の方を対象とした小児接種も開始しました。田村医師会をはじめ、多くの医療機関の皆さまのご協力により、ワクチン接種は順調に進んでおり、12歳以上の1・2回目接種率はおおむね90%、3回目接種率はおおむね80%となっております。

町内におきましても、「第6波」の影響が大きく表れましたが、現在は比較的落ち着いています。こうした状況は、介護事業所の皆さまが気を緩めることなく、あらゆる場面において、感染防止対策にご協力いただいているおかげであり、医療機関の皆さまが通常の診療もある中、PCR検査等やワクチン接種にご尽力いただいた賜物と存じます。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、町では、早期に対策本部を設置し、感染症の拡大防止と社会・経済活動の活性化の両立を目指し、様々な感染症予防対策を実施して参りました。年末年始や大型連休などで人の交流が多くなる時期や、感染症の急拡大時には、広報おのまち、防災無線、町のホームページ、LINE等を活用し、幅広い年代へ向け、感染症予防のための速やかな情報発信を継続的に行っております。

また、帰省や出張等で、やむを得ず感染拡大地域との往来をし、少しでも感染への不安がある方が、無症状でも検査を実施できるよう、PCR検査等費用の助成を行い、感染拡大防止に努めております。

昭和39年、町では、集団赤痢が発生した過去があります。突然に、しかも前例のない感染症の発生でありましたが、医師や看護師等の医療従事者の積極的な協力や、議員、行政区長、学校関係者等の町をあげての防疫態勢に加えて、町民各位からの協力により、想定された数をはるかに下回る患者数に抑え、急速な処理を実施することができた経験があります。先人の経験に学んで、地域が一丸となり、今般の新型コロナウイルス感染症の収束に向かうよう努めて参ります。

現在も、全国各地で「第6波」が収束していない地域も多く、県内においても新規感染者数は高止まりの状況であります。さらには、「第7波」についても懸念されているところですが、今後は60歳以上の方及び18歳以上で基礎疾患を有する方を対象とした4回目接種も開始する予定です。対象の時期に到達した方への接種を順次進めて参りますので、スムーズなワクチン接種へのご協力を改めてお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、いつでも、どこでも、誰でも感染する可能性があります。

コロナ禍という困難な状況に立ちすくむのではなく、感染者数を最小限に抑え、穏やかな日常に早く戻り、社会・経済活動が活性化するように取り組んで参りますので、田村地方在宅医療・介護連携支援センターの運営にご協力いただいている医療機関及び介護事業所の皆さまにおかれましても、引き続き、感染症対策へのご協力をお願いいたします。

コロナとの闘い 連携支援センター登録医療機関・事業所のコロナ対策の取り組み

消毒風景



ワクチン接種



PCR検査



アクリル板の設置



リモート面会



ゾーニング



コロナ下での研修会・勉強会



感染予防着



コロナ下でも訪問診療は継続



第2号の記事内容訂正のお知らせ

訂正後
南東北三春居宅介護支援事務所
田村郡三春町大字山田字クルマヤン3-3
TEL 0247-61-2512

